

# Ⅰ 結果のポイント

# 1 全道の概要(～P2)

## (1) 実技に関する調査【P 5～8】

### 〔体力合計点〕

- ・小・中学校の男女いずれも全国平均を下回っている。
- ・昨年度と比較して、小・中学校の男女いずれも上昇し、全国との差を縮めている。

### 〔各種目〕

- ・全国平均を上回った種目は、小学校男女の「握力」、「ソフトボール投げ」、小学校男子の「立ち幅とび」、中学校男子の「握力」である。
- ・小学校8種目中、男女いずれも6種目で、中学校9種目中、男子は7種目で、女子は4種目で全国との差を縮めている。

## (2) 体格と肥満度に関する調査【P 9・10】

- ・肥満傾向児の出現率は、小・中学校の男女いずれも全国平均を上回っている。
- ・痩身傾向時の出現率は、小学校女子、中学校男女で全国平均を上回っている。

## (3) 児童生徒質問紙調査【P 11～25】

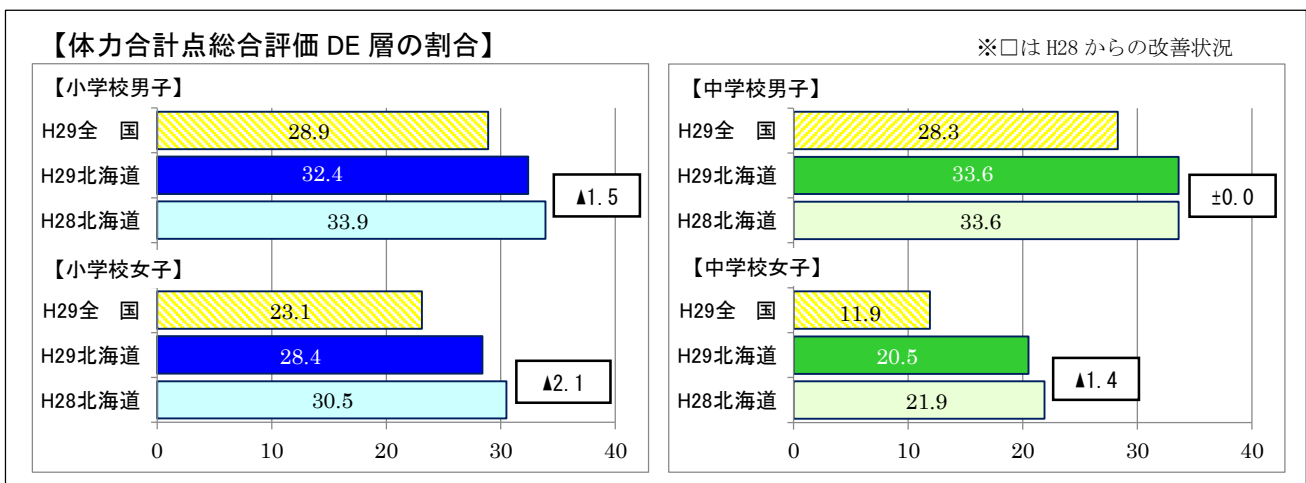
- ・「運動やスポーツをすることが好き」と回答した割合は、小・中学校の男女いずれも全国平均よりも高い。
- ・「授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されている」と回答した割合は、小学校では男女いずれも全国平均よりも低く、中学校では男女いずれも全国平均よりも高い。
- ・「授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っている」と回答した割合は、小・中学校の男女いずれも全国平均よりも低い。
- ・「体育授業以外における1週間の総運動時間が60分未満」と回答した割合は、小学校の男子、中学校の男女で全国平均よりも高い。

## (4) 学校質問紙調査【P 26～30】

- ・「児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を、学年としての目標と別に設定している学校」、「体育の授業以外で全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行っている学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均よりも高い。
- ・「新体力テストを調査対象の学年以外でも実施している学校」の割合は、小・中学校いずれも全国平均よりも低い。

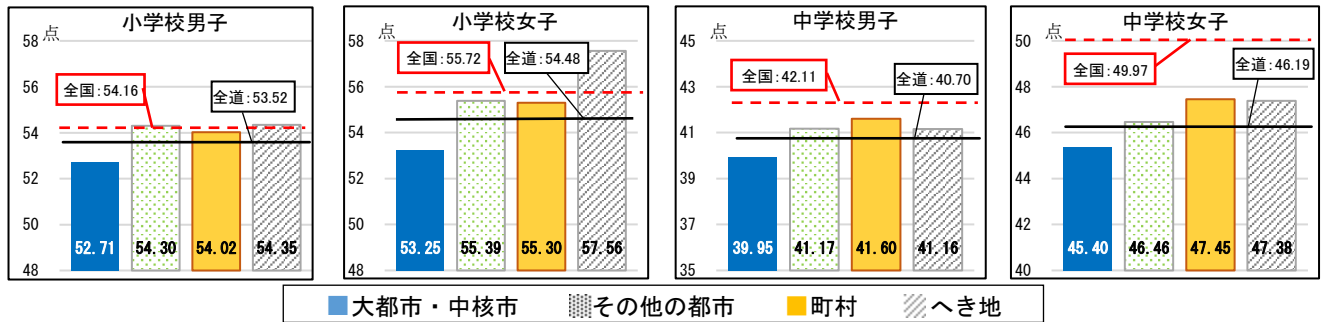
## (5) 体力合計点総合評価の児童生徒の割合【P 31・32】

- ・体力合計点総合評価のDE層の割合は、小・中学校の男女いずれも全国平均よりも高い。
- ・昨年度と比較してDE層の割合は、小学校の男女、中学校の女子で減少している。



**(6) 都市階級区分ごとの児童生徒の体力の状況【P33~40】**

- ・体力合計点が最も高いのは、小学校男子はへき地、中学校男子は町村で、最も低いのは、小・中学校の男女いずれも大都市・中核市である。

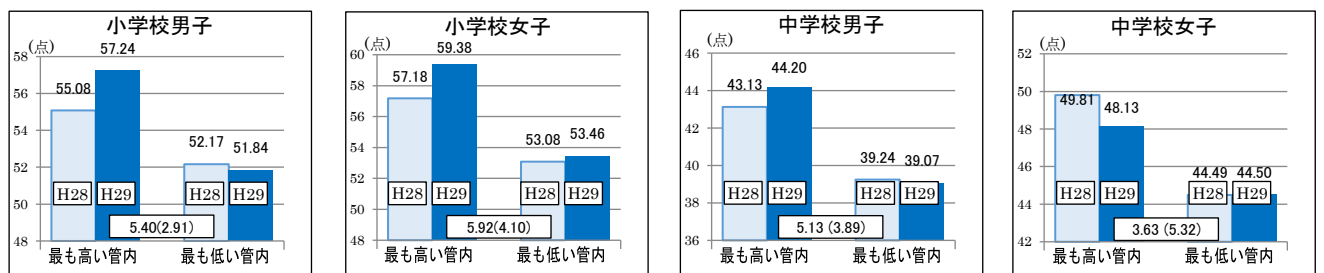


**(7) 体力合計点のばらつき【P41~43】**

**[管内の状況]**

- ・体力合計点の最も高い管内と最も低い管内との差が大きいの、小学校女子である。

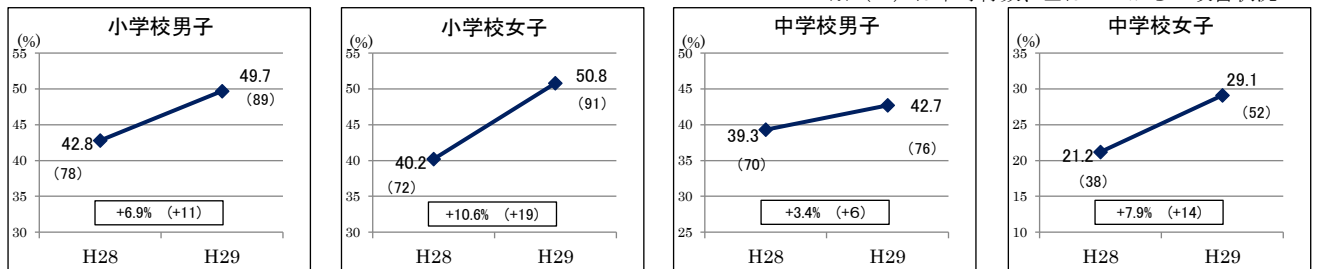
※□は最も高い管内と最も低い管内との差、( ) は H28



**[市町村の状況]**

- ・全国の体力合計点を上回った市町村数の割合は、小・中学校の男女いずれも増加している。

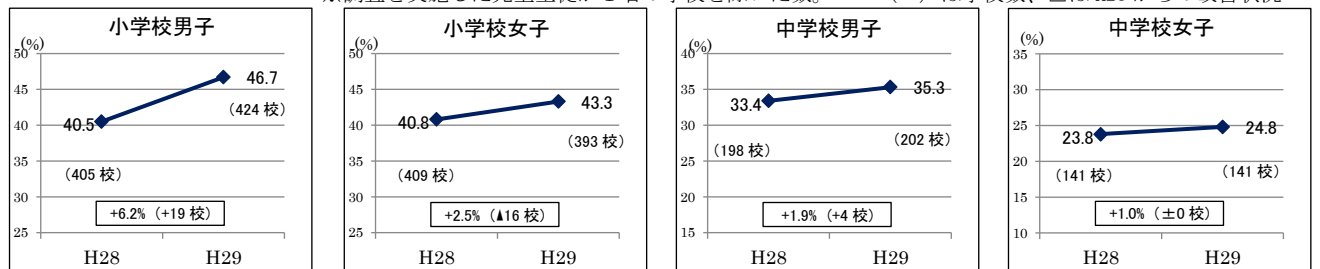
※( )は市町村数、□はH28からの改善状況



**[全道の学校の状況]**

- ・全国の体力合計点を上回った学校数の割合は、小・中学校の男女いずれも増加している。

※調査を実施した児童生徒が1名の学校を除いた数。( )は学校数、□はH28からの改善状況



**(8) クロス集計等による結果の分析【P44~49】**

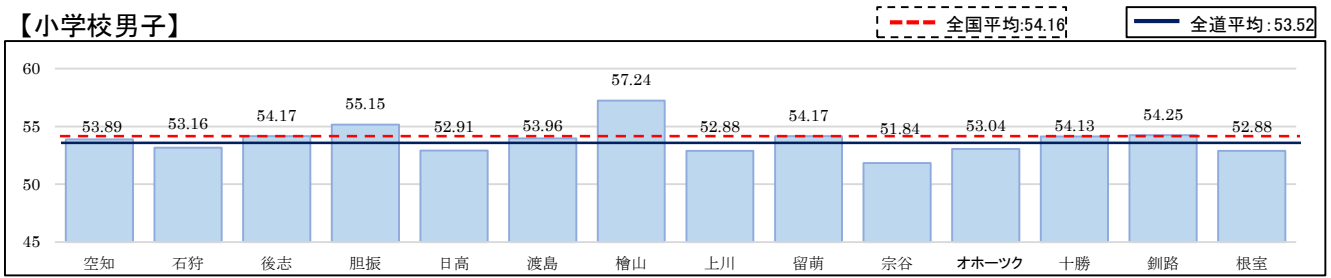
- ・小学校においては、体育授業の改善・充実や調査対象学年以外で新体力テストを実施している学校の体力合計点が高い傾向にある。
- ・中学校においては、体育授業以外の体力向上に係る取組を全教職員で進めている学校の体力合計点が高い傾向にある。
- ・学校間の連携を図っている小・中学校の体力合計点が高い傾向にある。

## 2 管内の概要（～P4）

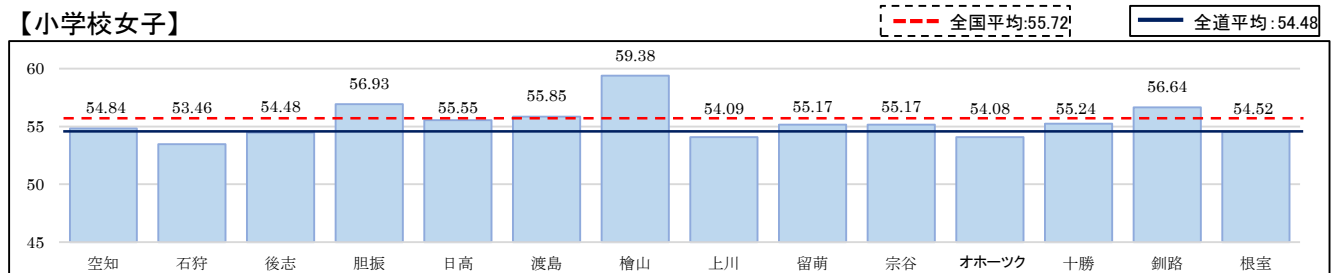
### (1) 体力合計点

・体力合計点が最も高かった管内は、小・中学校の男女いずれも檜山である。

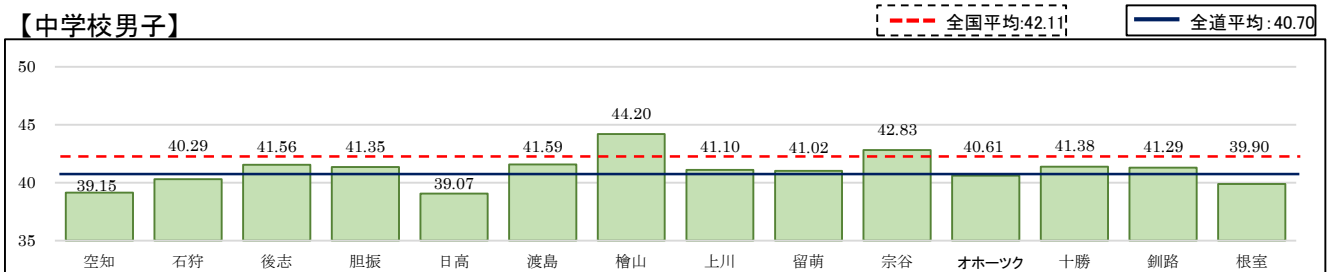
【小学校男子】



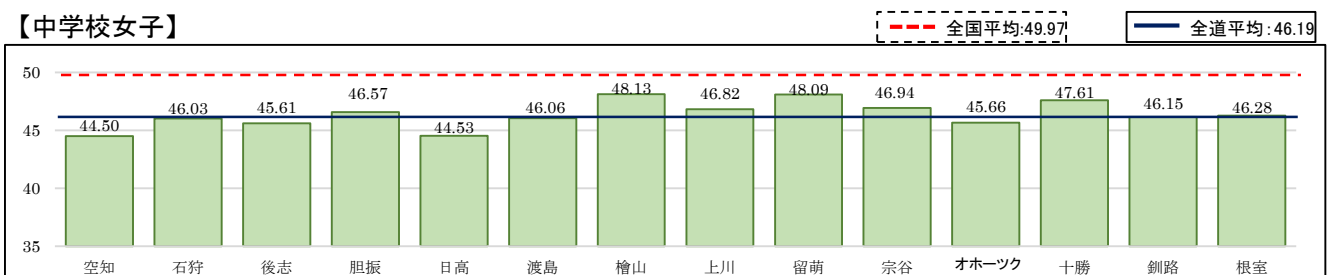
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】

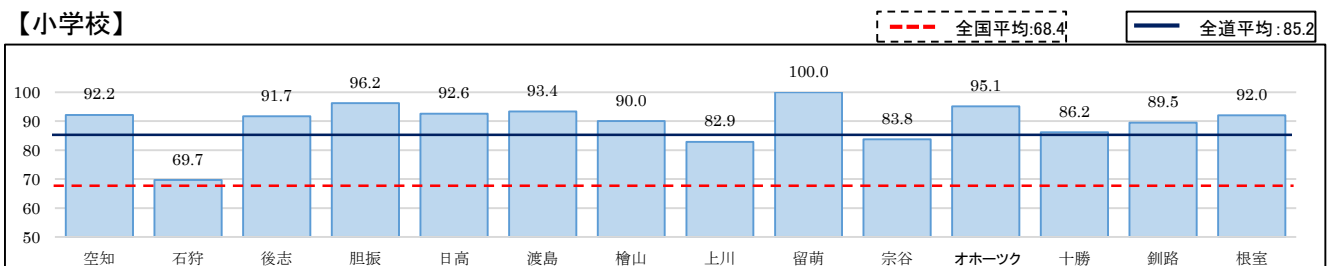


### (2) 学校質問紙調査

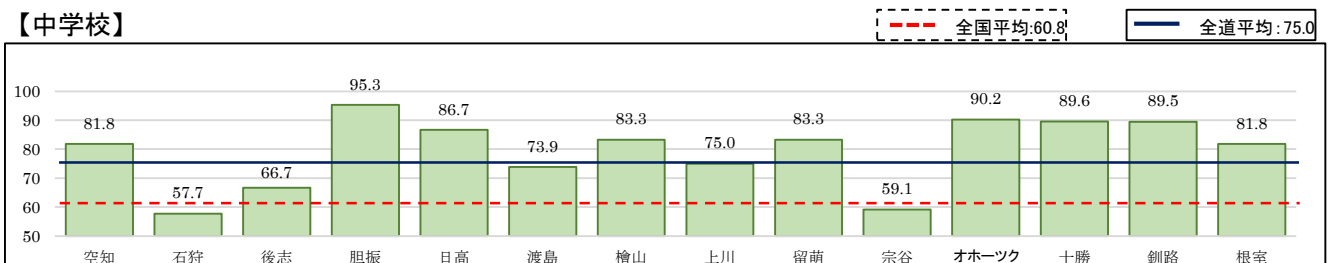
#### ① 児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を、学年としての目標と別に設定している割合

・児童生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を、学年としての目標と別に設定している学校の割合が最も高いのは、小学校が留萌、中学校が胆振である。

【小学校】



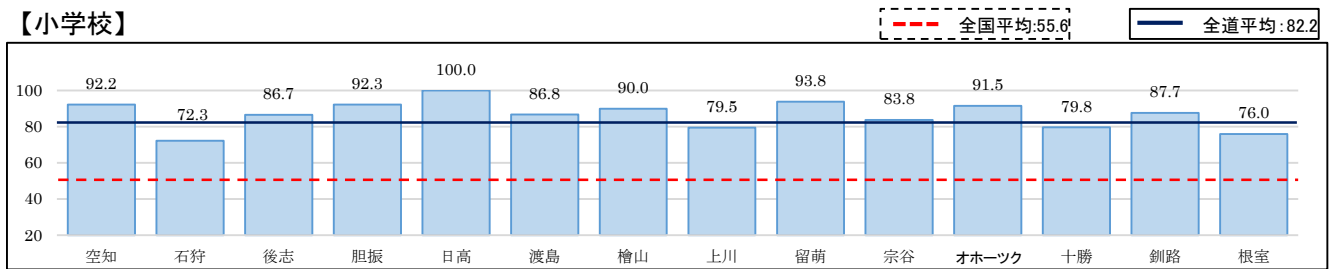
【中学校】



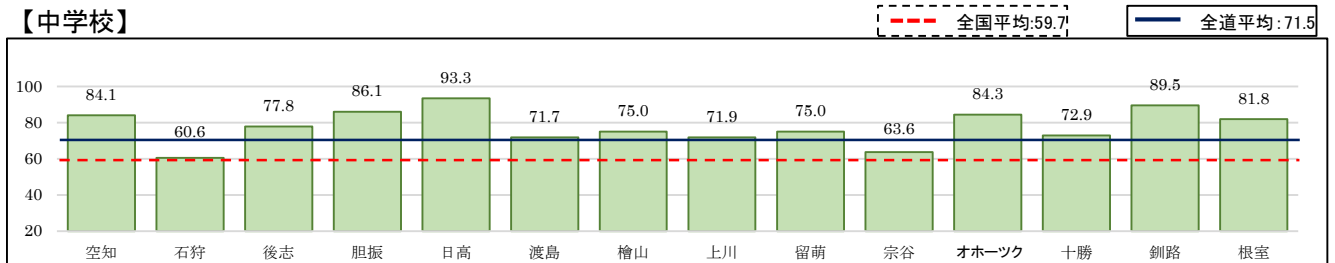
## ② 前年度の調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った割合

・前年度の調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った学校の割合が最も高いのは、小・中学校いずれも日高である。

### 【小学校】



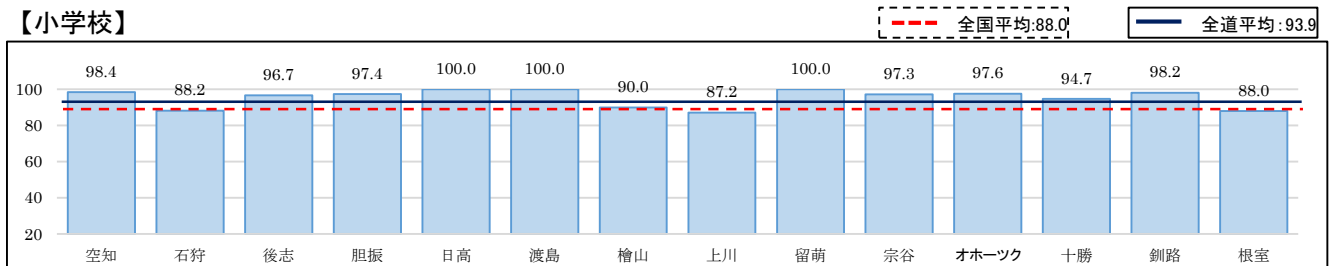
### 【中学校】



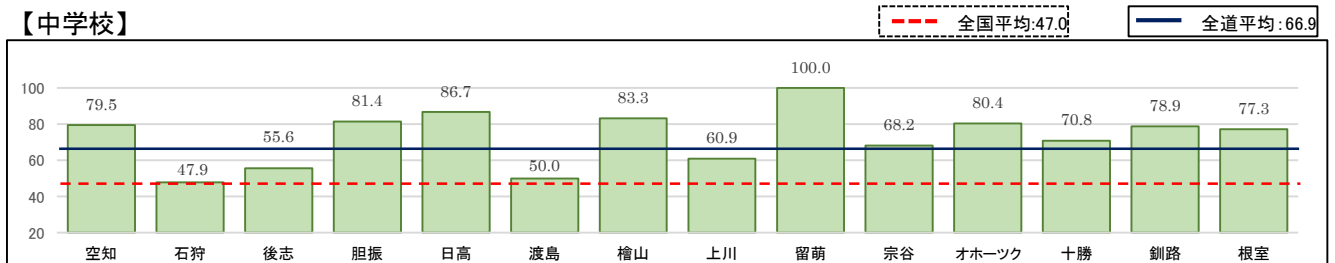
## ③ 体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を行った割合

・体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校の割合が最も高いのは、小学校が日高、渡島、留萌、中学校が留萌である。

### 【小学校】



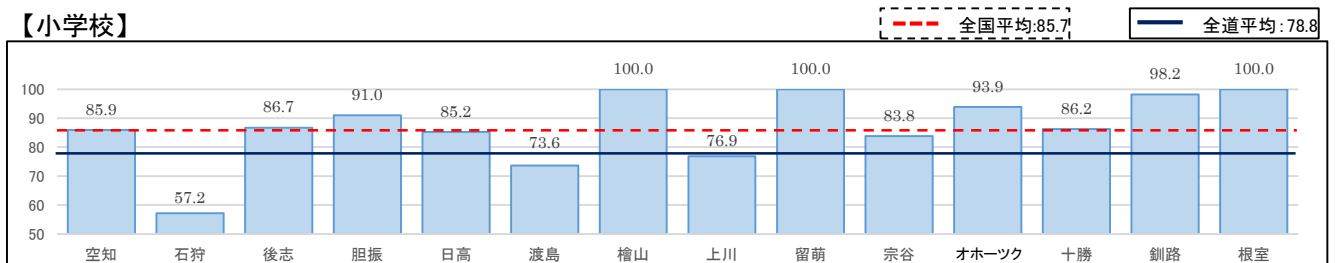
### 【中学校】



## ④ 調査対象学年以外で新体力テストを実施状況

・小学校第4学年において、新体力テストを実施している学校の割合が最も高いのは、檜山、留萌、根室である。  
・中学校第1学年において、新体力テストを実施している学校の割合が最も高いのは、日高、檜山、根室である。

### 【小学校】



### 【中学校】

